

## JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	文化交流教室を中心とした主体的多文化共生モデルの構築
2. 活動国・地域	日本国内（都内を中心）
3. 事業分野	<input type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	「文化交流教室」を中心に沿え、在住外国人の主体的かつ能動的な社会参加を通じた、前例のない多文化共生モデルの構築を目指す。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	各種調査によって、孤独であると感じる在住外国人の割合は日本人よりも高いことが明らかになっている。日本国内の多文化共生社会実現のためには、外国人含めたコミュニティ開発が不可欠である。では、どのようなコミュニティが必要か。在住外国人の多くは、支援する側・される側という関係ではなく、自らの経験や知見を地域で活かすことを望むことが分かっている。今回の事業では、外国人自らが地域の子どもたちに価値を提供する経験を持つことで、より強固なコミュニティ構築に繋げる。
6. 事業の意義・目的	弊団体の「文化交流教室」と「コミュニティ」を結び付け、在住外国人の活力を取り込む多文化共生モデルの構築を目指す。具体的には、在住外国人と地域の日本人がチームを組み、「文化交流教室」を企画・実施。将来的に、本事業で確立したモデルを、全国の自治体に拡大することができれば極めて意義深いと考える。
7. 主な対象者（受益者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加する在住外国人及び日本人（*計 50 人程度を想定）</li> <li>文化交流教室に参加する児童等（*計 180 人を想定）</li> </ul>
8. 実施期間	（西暦）2026年1月～2026年12月
9. 活動内容	<p><u>1. コミュニティ作り（2026年1月～）</u> 在住外国人及び日本人のコミュニティ構築。対面・オンラインの重層的な関係。</p> <p><u>2. イベントに向けたチームビルディング（2026年2月～）</u> コミュニティ内で 4～6 人程度の国籍混合チームを形成。弊団体の伴走の下、それぞれのチームにおいて、4月以降の文化交流教室実施に向けた準備を進める。</p> <p><u>3. 文化交流教室実施（2026年4～12月）</u> 地域の公共施設、小学校等において地域の子どもたちを対象とした「文化交流教室」を実施。事後の結果を踏まえ、モデルとしての全国展開を目指す。</p>
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人ナタデコ
2. 主な活動内容	全国の子どもたちへ異文化体験を届けることを目的に非営利で活動。①「文化交流教室」等の企画・運営。②文化交流に関するワークショップ。③世界の文化や教育プログラムに関する講演・情報発信。